

大慈寺の「てんれい桜(河津桜)」(志摩市)

## 平成26年三重県議会定例会 11月定例会議 スポーツの推進や医療・介護の総合的な確保の促進などについて議論

三重県スポーツ推進条例案や、地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する基金の設置などに伴う平成26年度一般会計補正予算のほか、平成25年度一般会計・特別会計決算認定議案などを審議しました。

### 一般質問の主な内容(2~4ページ)

- ・ 犯罪の未然防止策として防犯カメラの設置を
- ・ 産後ケアの充実を
- ・ 防災対策にタイムラインの活用を
- ・ 海女漁業の振興を
- ・ 女性が輝く三重県に
- ・ 「美し国おこし・三重」の継続を
- ・ 伊勢湾における漁業の課題と振興策
- ・ 自由度の高い交付金の活用策
- ・ 県産農林水産物や加工食品の海外への販路拡大を
- ・ 航空宇宙産業の振興を
- ・ 藤堂高虎のNHK大河ドラマへの誘致
- ・ 見通しを持った林業・木材業経営の推進を

### 本会議審議の結果(5ページ)

#### 主な活動内容(6~7ページ)

- ・ 森林づくりと森林を支える社会づくりについて意見交換  
～みえ現場 de 県議会～
- ・ 子どもたちへ議会のしくみを説明  
～みえ県議会出前講座～
- ・ 第2回三重県議会議員勉強会を開催
- ・ 全国の都道府県議会議員と意見交換  
～第14回都道府県議会議員研究交流大会～



みえ現場de県議会「森林づくりと森林を支える社会づくり」(平成26年11月13日 尾鷲市民文化会館)  
※詳細は6ページに掲載しています。



第2回三重県議会議員勉強会(平成26年12月17日)  
講師の中橋恵美子さん(NPO法人わははネット理事長)  
※詳細は7ページに掲載しています。

## 一般質問

### 犯罪の未然防止策として 防犯カメラの設置を

服部 富男 議員  
(自民みらい / 三重郡選出)



#### 問

犯罪を未然に防止するうえで、地域に交番や駐在所があることや、地域の方々から自ら警備をすることはとても有効であると考えますが、防犯カメラの設置についても重要ではないかと考えます。犯罪から県民の命を守るために、防犯カメラの設置についてしっかりと対応していただきたいと思いますが、知事の考えをお聞かせください。

#### 答

県では、自主防犯活動や安全安心まちづくり出前講座などを開催し、地域の安全を守る環境づくりを推進しています。防犯カメラは犯罪の発生を抑止する有効な手段と考えられており、その設置・運用に関するガイドラインの策定や、他県等の補助制度についての調査研究を行っています。



○避難所耐震化への支援について  
ほか

### 産後ケアの 充実を

東 豊 議員  
(鷹山 / 尾鷲市北牟婁郡選出)



#### 問

少子化対策として、妊娠・出産・産後・育児・子育ての流れの中で、切れ目のない支援体制の整備が計画されていますが、産後間もない時期は母親の体調が不安定で育児不安を抱えることがあり、産褥期の過ごし方がその後の育児生活を大きく左右します。母子保健事業の中で最も手薄となっている産院から退院した直後の産後ケアに関する県の取り組みについて伺います。



#### 答

県では、産後ケア事業制度を今年度創設しました。今後は、事業の実施市町や協力医療機関等の拡大を働きかけるとともに、受入施設のない地域でも地域の実情に応じた実施方法を市町と検討し、どの地域でも産後ケアが受けられるよう市町と連携して体制の整備に努めていきたいと考えています。

○若者の流出防止策  
ほか

### 防災対策に タイムラインの活用を

長田 隆尚 議員  
(新政みえ / 亀山市選出)



#### 問

県では、現在、「三重県新風水害対策行動計画(仮称)」の策定に向けた作業が進められています。この計画では、紀伊半島大水害で得られた教訓などを踏まえ、新たな「タイムライン」の考え方を活かした防災対策の導入について検討されていますが、今後、この「タイムライン」の活用についてどのように考えているのか、お伺いします。

#### 答

台風など「発災までに」対して「公助」の機能を十分に発揮することができるよう、「三重県新風水害対策行動計画(仮称)」では、「タイムライン」の考え方を対策に取り入れていくこととしており、平成29年度までの「三重県版タイムライン(仮称)」の策定をめざしていきます。



○河川管理について  
ほか

### 海女漁業の 振興を

山本 教和 議員  
(自民みらい / 志摩市選出)



#### 問

第5回海女サミットが10月に志摩市で開催され、日本国内と韓国から多くの海女さんに参加いただきました。海女漁の情報発信として成果はありましたが、現実には漁獲高の減少により、海女の数はさらに減っており、大変な状況です。今後も海女漁に関心を持ち、この漁法を継承していく必要があると思いますが、知事の思いと今後の取り組みについてお聞かせください。



#### 答

サミットでは海女の生活や後継者問題について海女さんから話があり、改めて多方面の関係者の協力が必要と感じたところです。県では、海女漁の国重要無形民俗文化財指定に向けて国に働きかけるとともに、海女漁を途絶えさせないために海女漁業の振興や海女自体のPRを市と連携して進めていきます。

○地方創生について  
ほか

文中の傍線部分については、4~5ページに用語解説を掲載しています。

※会派名は、その当時の会派名を記載しています。

「みえ県議会だより」はデータ放送でもご覧になれます。(三重テレビ7ch+dボタン)

### 女性が輝く三重県に

小島 智子 議員  
(新政みえ/桑名市・桑名郡選出)



#### 問

「女性の活躍推進三重県会議」キックオフ大会が開催され、企業の成長につながる女性活躍・男性活躍について、知事とゲストの対談が行われました。対談の中で、ゲストの方は、「企業は社員の活躍と業績アップがミッション」と発言されましたが、知事は行政のミッションは何だと考えていますか。また、「女性の活躍が進む」とはどういうことだと考えていますか。

#### 答

三重県の行政のミッションは、「税金を的確に運用して、今の県民だけでなく、今後三重県に住む方にも幸せになっていただくこと」と考えます。また、「女性の活躍が進む」とは、働く場に限らず、家庭や地域など様々な場や立ち場で、女性が自らの夢を実現し、いきいきと活躍し輝いている姿が増えることだと考えます。



「女性の活躍推進三重県会議」キックオフ大会

○その他の質問事項  
里親支援体制の構築 ほか

### 「美し国おこし・三重」の継続を

中村 欣一郎 議員  
(自民みらい/鳥羽市選出)



#### 問

「美し国おこし・三重」は、これまで取り組んできたパートナーグループや、これから新規に始めたい人のことを思えば、期間が満了したから終了というのでは不十分だと考えます。県として、これまで6年間の成果をどのように考えていますか。また、今後も団体の新規登録や相談窓口の設置、広報活動の支援などを継続すべきと考えますが、いかがですか。



「美し国おこし・三重」のマスコットキャラクター「うまちゃん」

#### 答

パートナーグループによる活動が身近な暮らしの充実につながるなど、自立・持続可能で元気な地域づくりに必要な役割を果たしたものと考えています。「美し国おこし・三重」は、6年間限定の取り組みで、本年度で終了します。今後は、地域づくり団体交流会議の中で団体の情報発信を行っていきます。

○その他の質問事項  
離島架橋の実現について ほか

### 伊勢湾における漁業の課題と振興策

後藤 健一 議員  
(新政みえ/松阪市選出)



#### 問

伊勢湾再生の取り組みにより、生活排水処理施設の整備等が進み、伊勢湾の環境基準の達成率は60%まで上昇しました。しかし、内湾漁業のアサリやクロノリの生産量は、かつての5分の1、3分の1に減ってしまいました。そこで、県として伊勢湾の漁業にはどのような課題があるのか、とりわけアサリ漁業やクロノリ養殖の復活に向けた振興策も含めてお聞かせください。

#### 答

クロノリ減少の背景には価格の下落等による漁業者の減少などがあり、県では産学官連携による新品種や新商品の開発を進めるなどクロノリ養殖の振興に取り組んでいます。また、アサリ減少の背景には干潟の減少など生育環境の悪化があり、県では漁業環境の改善などアサリの資源回復に向けて取り組んでいます。



クロノリ養殖の様子

○その他の質問事項  
平和な社会・支え合う地域の実現に向けて ほか

### 自由度の高い交付金の活用策

小野 欽市 議員  
(自民みらい/津市選出)



#### 問

地方創生の推進に向けて、全国知事会は、地方にとつてより自由度の高い交付金制度の創設を提案しています。今後、国では地方創生に関する5か年の総合戦略を策定し、地方でも地域の特性に応じた計画を策定する予定と聞いていますが、県として計画策定にあたり、より自由度の高い交付金をどのように活用しようと考えているのか、お聞かせください。



#### 答

地方創生の取り組みを続けていくには、確固たる財政基盤の確保が不可欠です。交付金の内容は明らかではありませんが、県が重点的に取り組んでいる少子化対策や、地域が必要とする人材の育成、雇用の確保に向けた新産業の創出、若者のUターン支援など、社会減対策に活用すべく今後とも検討していきます。

○その他の質問事項  
教育改革について ほか

### 県産農林水産物や加工食品の海外への販路拡大を

濱井 初男 議員  
(新政みえ/多気郡選出)



#### 問

中山間地域における農業を取り巻く環境は、資材や肥料、燃料等の高騰により非常に厳しい状況です。そこで、他県に先駆けて、県産農林水産物や加工食品について、東南アジアを始めとする海外への販路拡大を図っていくべきと考えますが、試験的に始めているものも含め、県産品の輸出促進と定着に向けた対策についてお聞かせください。

#### 答

これまでは海外での物産展を通じた売り込みを中心に取り組んできましたが、次のステージとして国際見本市への出店や海外バイヤーの県内招へいなど、商談機会の創出に重点をおいた取り組みを進めていきます。今後も、こうした取り組みを継続・強化し、県産品の認知度向上や継続取引の拡大に努めていきます。



海外バイヤーとの商談風景

○地方分権改革と地方目線での再生について ほか

### 航空宇宙産業の振興を

稲垣 昭義 議員  
(新政みえ/四日市市選出)



#### 問

本県は③国際戦略総合特区「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」の指定を受け、現在、「みえ航空宇宙産業振興ビジョン」を策定中ですが、その内容についてお伺いします。また、知事はワシントン州を訪問し、ビジネス拡大等のための覚書の締結やボーイング社へのトップセールスなどを行いました。その成果としての具体的な取り組みについてもお伺いします。

#### 答

本県では世界的な視野を持つ人材の育成や航空宇宙産業のすそ野の拡大をめざすためのビジョンを本年度中に策定することとしています。今後は海外ミッション等により構築したネットワークを活用し、ビジョンに基づき、短期・中長期的な視点で人材育成、参入促進、事業環境整備に産学官で取り組んでいきます。



第1回航空宇宙産業研究会の様子

○消防団協力事業所への優遇措置について ほか

### 藤堂高虎のNHK大河ドラマへの誘致

舟橋 裕幸 議員  
(新政みえ/津市選出)



#### 問

平成13年、「NHK大河ドラマ」藤堂高虎」を誘致する会」が発足しました。同会ではNHKへの請願活動や、市民向け講演会、関係自治体とのサミットを開催するなどの活動をしていきます。また、津市ではふるさと納税の使い道にロケ地としての津城整備を設けるなど市民と行政による誘致の取り組みが進んでいます。そこで、知事の所見と県の支援についてお伺いします。

#### 答

市民の皆様と地方行政との連携による長年の取り組みは、地方創生の先駆けとして大変評価されるべきものと考えています。「NHK大河ドラマ」藤堂高虎」を誘致する会の請願活動には県も関連部署が参加しており、今後も引き続き、地域の方々とともに大河ドラマの実現に向けて取り組んでいきます。



藤堂高虎の像

○ラウンドアバウトおよび道路標示の維持管理について ほか

### 見通しを持った林業・木材業経営の推進を

中西 勇 議員  
(新しい翼/松阪市選出)



#### 問

計画的な林業経営に必要な情報が不足しています。県産材の生産拡大や木材の需給・価格の安定化を図るため、森林整備等の年間事業量や木材生産量の見通しについて、公表や情報提供を行うことは考えますが、いかがですか。他県で進められている森林整備や木材生産の見通しを公表する取り組みについて、効果等に関し情報収集するとともに、県内の林業関係者からの意見も聞きながら検討していきます。

#### 答

### 1 産後ケア

産院退院直後で体調が回復しておらず、悩みや孤立感が高まる時期の母親に対し、医療機関や助産所の空ベッド等を利用し、①赤ちゃんのケア、②乳房のケアやメンタル面のケア、③授乳や沐浴の指導、④育児サポート情報の提供等を行い、安心して子育てができるよう支援をするものです。

### 用語解説

文中の傍線部分については、4~5ページに用語解説を掲載しています。

## 2 タイムライン

発生の前から予測できる災害に対して、全ての関係者の行動を時系列に整理・共有しておくことで、災害が迫っているときや、災害が発生した時に発動できる体制を構築しておくものです。アメリカでハリケーンの被害軽減策として始まり、日本でも注目され始めています。

## 3 国際戦略総合特区(アジアNo.1 航空宇宙産業クラスター) 形成特区

愛知、岐阜、三重、長野、静岡地域にまたがるこの特区では、研究開発から設計、製造、保守管理までの一貫体制を持つアジア最大・最強の航空宇宙産業クラスターの形成をめざしています。三重県は、区域拡大により平成25年10月11日付で指定を受けています。なお、特区内で実施される設備投資等については、税制上の支援措置(特別償却等)や、金融上の支援措置(利子補給)等を受けることができます。

## 本会議審議の結果

議案の概要、議員別の賛否等の状況などの審議結果や、請願・意見書・陳情の内容は、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

### 可決した議員提出議案

- 三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例案

### 可決した議案

- 予算  
○平成26年度三重県一般会計補正予算(第5号) ほか17件

- 条例  
○三重県スポーツ推進条例案  
○三重県地域医療介護総合確保基金条例案 ほか18件

### その他議案

- 公立大学法人三重県立看護大学第二期中期目標について ほか10件
- 人事案件(同意)
- 教育委員会委員の選任につき同意を得ることについて

### 認定した一般会計・特別会計決算

- 平成25年度三重県一般会計歳入歳出決算
- 平成25年度三重県債管理特別会計歳入歳出決算
- 平成25年度地方独立行政法人三重県立総合医療センター資金貸付特別会計歳入歳出決算
- 平成25年度三重県母子及び寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算

- 平成25年度三重県立小児心療センターあすなる学園事業特別会計歳入歳出決算

- 平成25年度三重県就農施設等資金貸付事業特別会計歳入歳出決算

- 平成25年度三重県地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算

- 平成25年度三重県林業改善資金貸付事業特別会計歳入歳出決算

- 平成25年度三重県沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計歳入歳出決算

- 平成25年度三重県中小企業者等支援資金貸付事業特別会計歳入歳出決算

- 平成25年度三重県港湾整備事業特別会計歳入歳出決算

- 平成25年度三重県流域下水道事業特別会計歳入歳出決算

- 平成25年度三重県公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算

### 採択した請願

- 義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求めることについて
- 「教職員定数改善計画」の着実な実施と教育予算拡充を求めることについて

- 保護者負担の軽減と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めることについて

- 防災対策の見直しをはじめとした総合的な学校安全対策の充実を求めることについて

- 私学助成について

### 可決した意見書

- 義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書

- 教職員等指導体制の整備の着実な実施及び教育予算の拡充を求める意見書

- 保護者負担の軽減と就学及び修学支援に関する制度の拡充を求める意見書

- 防災対策の見直しを含めた総合的な学校安全対策の拡充を求める意見書

- 私学助成の充実を求める意見書

- 障がい者雇用促進に向けた支援制度の拡充を求める意見書

### 提出された陳情

- 住宅地を犠牲にする洪水対策解決の要望を求めることについて

# 森林づくりと森林を支える社会づくりについて 意見交換 〜みえ現場de県議会〜

県議会では、多様な県民の意見を県議会での議論に反映させるため、「みえ現場de県議会」を毎年度開催しています。



今年度は、11月13日に、尾鷲市にある尾鷲市民文化会館（せぎやまホール）で「森林づくりと森林を支える社会づくり〜みえ森と緑の県民税導入を契機に〜」をテーマに開催しました。

当日は、森林が置かれている現状や森林づくりを進めるうえでの課題を踏まえ、三重の森林を守り、未来へつなげるための森林づくりはどうあるべきか、県議会議員13人が森林を支える社会づくりに関わる方や一般公募による県民の方から直接ご意見をお聴きしました。

参加者からは、次のような意見がありました。

## 森林づくりについて

- ・材価の低迷が続く、森林への関心が薄れ管理ができなくなっている。山の所有者も高齢化が進み、山林の境界がわからなくなってきた。三重県は地籍調査が大変遅れているのでぜひ取り組んでもらいたい。
- ・1次産業である林業、2次産業である木材加工、さらにそれを販売していく6次産業化をめざしてやっていきたい。そこまでやっていかないと、山に植え付けする人が誰もいなくなる。
- ・森林の多面的機能を発揮するために水脈や気脈を考えた森林整備に取り組んでほしい。木の家を高いと思っているお客さんが多いが、実はそんなことはないという情報を安心して入手できる場所を作るといいのではないか。
- ・県産材の利用への補助を拡充するなど、税金の集中利用を願いたい。

## 森林を支える社会づくりに ついて

- ・学校・地域・森林指導者が一体となって環境教育に取り組んでいくべき。
- ・学校の先生にも森林体験の現場に来てほしい。
- ・子どもたちが植樹をするときに、森になるんだと思って植えると全然違う。森づくりをするときには、ただ植えるのではなく、テーマを持ってやった方が教育になっていくと感じる。
- ・ボランティアの横のつながりがなく、交流の場がないように、会をもつて、協力しながらやれば、よりよい環境教育ができるのではないか。
- ・自社で取り組んだ企業の森活動では、一度植樹はするものの、植えた木がどうなっているのかも知らなかった。今年からは社員参加型にして、ボランティアを募り、追加植樹を行った。こういった活動を地道に続けていきたいと思う。



## 会議の開催状況（会議の様子は、一部を除き県議会ホームページの「議会中継」からご覧いただけます。）

### 11月

- 4日 予算決算常任委員会各分科会  
決算認定議案の審査、所管事項の調査
- 6日 予算決算常任委員会  
決算認定議案の審査、所管事項の調査  
障がい者雇用促進調査特別委員会  
今後の委員会の進め方について
- 21日 本会議  
決算認定議案13件認定、請願4件採択、意見書案4件上程・可決、議案46件上程
- 27日 本会議  
議提議案1件上程、議案3件上程・1件可決、議案に関する質疑（2人）  
予算決算常任委員会総務地域連携分科会

- 先議議案の審査  
予算決算常任委員会  
先議議案の審査  
障がい者雇用促進調査特別委員会  
三重県における障がい者の雇用に係る現状等について ほか

- 28日 本会議  
一般質問（4人）

### 12月

- 2日 本会議  
一般質問（4人）
- 4日 本会議  
一般質問（4人）
- 5日 予算決算常任委員会

- 平成27年度当初予算要求状況の調査
- 8日 予算決算常任委員会  
平成27年度当初予算要求状況の調査（総括的質疑）  
障がい者雇用促進調査特別委員会  
委員長報告案について
- 9日～12日 各常任委員会・分科会  
議案等の審査、所管事項の調査
- 17日 予算決算常任委員会  
議案の審査  
障がい者雇用促進調査特別委員会  
意見書について、委員長報告案について
- 19日 本会議  
議案48件可決、議提議案1件可決、請願1件採択、意見書案2件上程・可決、人事同意議案1件上程・同意

「みえ県議会だより」はデータ放送でもご覧になれます。(三重テレビ7ch+dボタン)

## 子どもたちへ議会のしくみを説明 みえ県議会出前講座

県議会では、県議会をより身近に感じていただき、将来の住民自治を担う意識の醸成に寄与することを目的に、県議会議員が小中学校や高等学校に出向いて授業を行っています。

授業では、県議会の役割や仕組みなどについて、県議会を紹介するDVD映像を交えて説明を行っています。

11月に訪れた特別支援学校聖母の家学園では、「予算決算は何をするのか」「グループホームを増やすことはできるか」「三重県の観光大使は何人いるのか」といった質問や「リアフリーを県内でもっと広めてほしい」といった要望が寄せられました。



11月25日 聖母の家学園での様子

また、12月に訪れた津市立南立誠小学校では、「県議会と県庁の関係は」「議員の給料はいくらか」「紀勢道が全線開通してどう思うか」などの質問が、

私立暁中学校では、「予算の使い道を教えてほしい」「通年議会になったことで

議員から負担が増えるとの声はなかったのか」「なぜ議員になろう

と思ったのか」などの質問がありました。

いずれの質問にも、議員がそれぞれ丁寧に説明を行いました。



12月17日 暁中学校での様子



12月1日 南立誠小学校での様子

参加いただいた学校からは、「議員から経験を交えた話が聞けて良かった」、「議員が私達の暮らしを支えてくれていたことが分かり勉強になった」といった感想をいただきました。

みえ県議会出前講座は、各学校のご希望も伺いながら実施しています。今後も、各学校からのお申し込みをお待ちしています。

## 第2回三重県議会 議員勉強会を開催

県議会では、議員の資質向上を図るため、県政を取り巻く諸課題の中から必要なテーマを選定し、外部有識者を招いた「議員勉強会」を開催しています。

12月17日には第2回として、国の「まち・ひと・しごと創生会議」の委員であり、NPO法人わははネットの理事長である中橋恵美子氏を講師にお招きし、「人口減少社会における地方創生と子育て支援の取組から」と題した講演をいただきました。

講演では、若者の流出防止を図るための取組みや、早期の結婚・出産がポジティブなものを受け止められるムードづくり、さらには、行政・地域・企業等が一体となった少子化対策の取組みなどについて貴重なお話をいただきました。

講演後は、議員から男性の育児参加への現状や行政が取り組む婚活支援の状況などについて、質問が出されるなど、活発な意見交換も行われました。

## 全国の都道府県議会議員と 意見交換し第14回都道府県 議会議員研究交流大会

11月11日、東京において、全国の都道府県議会議員が集まり、共通する政策課題などについての情報や意見の交換を行う、第14回都道府県議会議員研究交流大会が開催され、本県からも10人の議員が参加しました。

最初に、「地方自治体の将来展望と都道府県議会の役割」をテーマに、神野直彦東京大学名誉教授から、社会経済情勢の変化を踏まえ、地方分権へと向かう社会における地方議会のあり方などに関する基調講演がありました。

その後、「議会運営の改革」、「議会の政策立案機能の強化」などの5つのテーマの分科会に分かれ、パネリストの議員から自県の取組事例等の発表が行われた後、参加議員による活発な意見交換が行われました。



基調講演の様子

【三重県議会ホームページ】



県議会では、開かれた議会運営の実現のために、県民のみなさんがどこからでも会議の様子をご覧いただけるよう、インターネットにより、すべての本会議、常任・特別委員会、全員協議会、議長定例記者会見などの生中継を行っています。

また、録画配信も実施していますので、ぜひご覧ください。

いずれも、県議会ホームページの「議会中継・録画」からご覧いただけます。（常任・特別委員会における説明資料もご覧いただけます。）

クリック

議会の窓

インターネットによる  
中継・録画配信のお知らせ

平成27年三重県議会 第1回定例会の日程

三重県議会の会期は通年制となっています。なお、今年は議員任期満了による一般選挙の年となるため、年2回制となります。平成27年2月から平成27年3月までの日程は次のとおりです。

- 2月 2日 代表者会議
- 9日 議会運営委員会
- 10日 全員協議会
- 16日 本会議(議案上程)、議案聴取会
- 17日 議案聴取会
- 20日 本会議(代表質問、質疑)
- 24日、26日 本会議(一般質問)
- 27日 本会議(追加議案上程)
- 3月 3日 本会議(一般質問・追加質疑)
- 4日 予算決算常任委員会総括質疑
- 5日、6日、9日、10日 各常任委員会及び分科会
- 13日 予算決算常任委員会
- 16日 代表者会議、議会運営委員会
- 17日 本会議(採決、閉会)

この日程は、平成26年12月25日現在の予定です。最新の情報は、ホームページまたはテレビのデータ放送でご確認ください。

TV テレビ中継    インターネット中継

編集

三重県議会広聴広報会議

- 座長 奥野 英介(副議長)
- 委員 小島 智子 彦坂 公之 後藤 健一  
 栗野 仁博 石田 成生 中村 欣一郎  
 大久保孝栄 今井 智広 中西 勇

問い合わせ窓口

〒514-8570 津市広明町13  
 三重県議会事務局企画法務課  
 ☎059(224)2877 ☎059(229)1931  
 ✉gikaik@pref.mie.jp  
 🌐http://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/



議事堂1階には、地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究に資することを目的として議会図書室を設置しています。

議会図書室では、議員の調査研究に参考となる図書などを選定・収集し、また、議員から依頼のあった資料を検索し、提供するなど、議員活動をサポートしています。

議会図書室(会議録などの閲覧)のご案内

議会図書室の所蔵資料は県民のみなさんも閲覧することができますので、閲覧されたい方はご利用ください。

なお、所蔵資料の貸出、複写サービスは行っていませんので、あらかじめご了承ください。



自治功労者表彰

11月21日の本会議において、永年にわたる県政への功労に対し、全国都道府県議会議長会の自治功労者表彰が議長から伝達されました。

- ・自治功労者表彰(20年以上)  
中村進一議員 三谷哲央議員  
舟橋裕幸議員
- ・自治功労者表彰(15年以上)  
山本 勝議員 貝増吉郎議員  
前田剛志議員 日沖正信議員

次回の発行は平成27年(2015年)4月1日です。